

PRESS RELEASE

2024年7月1日
株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、クラウドサービス「IIJ GIOインフラストラクチャーP2 Gen.2」の 西日本リージョンを開設し、ディザスタリカバリ機能を提供開始

-- GIO P2 Gen.2 東日本リージョンの災害復旧先として、手軽かつ低コストに対策を実現可能 --

当社は、パブリッククラウドの“手軽さ”とプライベートクラウドの“自由度”の両方のメリットを備えたクラウド (IaaS) サービス「IIJ GIO (ジオ) インフラストラクチャーP2 Gen.2 (以下 GIO P2 Gen.2)」の設備を新たに西日本に開設し、GIO P2 Gen.2 のメニュー「フレキシブルサーバリソース」のディザスタリカバリ (災害復旧、以下 DR) 機能を、本日より提供開始します。お客様は東日本リージョンのメインサイトとあわせて本機能を契約いただくことで、クラウド基盤の東西冗長構成を容易かつ低コストに構築できます。フレキシブルサーバリソース DR 機能の特徴は以下のとおりです。

DR 環境の構築が容易に可能

専用のコントロールパネルを通じて、仮想マシン (VM) レプリケーションにかかわる一連の機能の設定ができ、DR 保護対象の VM の選択や DR サイトへの切り替え操作等を簡単に行えます。エージェントレス方式のため、稼働している同期元 VM の設定変更などは不要です。

通信経路の切り替えまで自動で実施

利用拠点から東西リージョンへの接続ネットワークには IIJ プライベートバックボーンを利用できます。その場合、災害や障害等の異常発生時もメインサイトと同じ IP アドレスのまま、シームレスに DR サイトに通信経路を切り替えできます。通信経路の切り替えは、メインサイトへの通信断をトリガーにした自動切り替えか、コントロールパネル操作での手動切り替えを選択できます。

コストを抑えた DR 対策が可能

DR 対象は 1 ノード単位で指定が可能です。プライオリティの高いシステム群に限定してスモールスタートするなど、最適な構成を低コストで実現できます。DR サイト構築のための新たな設備や機器の導入は不要で、かつ、正常時はストレージリソースなどの最小限の課金となるため、コストを抑えた対策が可能です。

なお、西日本リージョンは DR 専用サイトとして提供します。西日本リージョンを単独で利用することはできません。

■レプリケーション機能利用料金

初期費用：0 円

月額費用：10,000 円/台(※)

(※) 別途サーバリソースの利用料金が発生します (非アクティブ時はストレージリソース費用のみ発生)。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 増田、荒井

TEL : 03-5205-6310 FAX : 03-5205-6377

E-mail : press@ij.ad.jp URL: <https://www.ij.ad.jp/>

(※)本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。